

令和4年度第3回志木市社会教育委員会議録

日時 令和4年11月8日(火)

午後2時00分

～3時25分

場所 市役所2階 中会議室2-2

出席者 委員：市之瀬初男、竹前榮二、野島悦子、前田喜春、宮原正幸、
山下美香、有馬隆江、一ノ倉達也、荻島亜紗美、中村和子
(順不同、敬称略)

市：土崎生涯学習課長、浅見主幹、塚原主事

欠席者 委員：石井都、青木りえ、鈴木民雄、神谷惣治、星野祐子

1 開 会 土崎生涯学習課長

2 あいさつ 竹前榮二議長

3 協議事項 進行：竹前榮二議長

(1) 志木市生涯学習推進指針の検証について 説明：浅見主幹

事務局より説明

生涯学習指針の検証は、昨年3月に改訂した、志木市生涯学習推進指針に基づいた事業について、検証するものである。

今回は、令和3年度に実施した生涯学習に関連する事業(委託及び補助事業を含む)で、「志木市生涯学習推進指針」に基づく取組がなされた254事業等についての検証。(対象時期は令和3年度に実施された事業)。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、多くの事業が中止となったが、令和3年度は感染対策を講じながら、254事業のうち、42事業が中止となったが、全体の8割である212事業が開催できた。

(議長) 令和3年度は多くの事業の実施ができたため、10分間じっくり目を通していただき、皆さんからご意見をいただきたい。

(委員) 資料1-2の○・◎を全部たすと、254事業になるのか。

(事務局) 一つの事業で○・◎が複数あるため、○・◎の数をたすと254にはならない。表のNo.の数を足した数が254事業となる。

(委員) 3ページNo.17のいろは遊学館「食品サンプル作り教室」はどのようなことを実施しているのか。また、説明に書かれている「しかけ

絵本」との関連性は何か。

- (事務局) 「食品サンプル教室」は、市内で食品サンプル教室を営まれている講師に、小学生を対象とした講座をお願いしている。材料などは、講師に準備等を依頼し、過去にはたこ焼き・焼きそば、かき氷などをつくった。毎年、申込み開始早々に定員が満員にくらい、大変人気の高い講座である。「しかけ絵本」との関連性は、令和2年度に絵本教室を実施し、その説明が誤字で残ってしまっていたため、訂正。
- (委員) 7ページの市民会館の事業など、たくさんの方々に来ていただけて素晴らしいと思った。「おやこ劇場」でも今月「こどもライブフェスタ」を市民会館で実施する。皆でつくりあげ、協力したものを地域の身近なところで子どもたちに提供できるというのは、とても良い機会である。
- (委員) 市民活動推進課の「いろは楽学塾」が非常に良い。コロナ禍で中々理解できないこともある。例えば、「後期高齢者」の講座など理解しにくい内容も行政の職員に指導いただき、理解ができた。
- (委員) 市で254事業の多くの事業を実施していることに大変驚いた。9ページの22番児童センター「異文化交流会」では、ウガンダや、ネパールなどの国の方々と交流ができた。行政と一緒に取り組むことによって、個人の団体で実施するよりも、多くの方に周知ができ、来ていただけるため、このような事業が他の施設でもできたらと思っている。
- (議長) コロナ前とコロナ後では、交流の機会の数の差はあったか。
- (委員) コロナの時には、ほとんど交流ができなかった。今は徐々にできるようになっているが、周知の方法など課題もあるため、改善をしていきたいと思っている。
- (委員) 対象者の欄の「少年」の記載が気になった。
- (事務局) この表は、約22の担当課所に回答を依頼しており、それぞれで表現の仕方が異なっている。来年度以降、対象者表記の仕方を検討していきたい。
- (委員) 6ページのいろは遊学図書館が志木小学校と図書館について学ぶ事業を実施していると書かれているが、他の書かれていない小学校では実施していないのか。
- (副議長) 柳瀬川図書館では、「図書館見学」という事業を実施している。志木第二小学校、志木第三小学校なども実施をしている。
- (事務局) この「たんけん」事業に関しては、学校主催のものになるため、「図書館」を選ぶこともあれば、他の施設や、商店街などを選ぶこともある。そのため、たまたま、いろは遊学図書館を「たんけん」

事業で選んだ学校が記載してある。ここの254事業は全ての市内の事業が記載されているわけではない。

(委員) 令和3年度もコロナ禍ではあるが、たくさんの事業を一生懸命、実施していることが理解できた。

おやこ劇場さんの事業もたくさん実施されていて、多くの方々に集まっていたかと思うが、どのように多くの方を集めているのか。

(委員) 地域のイベントにおやこ劇場が参加をし、そこに来た親御さんにチラシをお渡ししたり、学校にチラシを置いてもらえるようご協力をいただいたりしている。あとは、町内会で回覧をお願いしたりもしている。

(委員) 近年、保護者の方はお忙しいので、どのくらい親御さんに情報がどのくらい行き渡っているのか今回、お伺いした。

(委員) また、子ども会などでも配布をお願いしている。また、地域の多くの団体、商店などにも協賛をいただいている。

子どもたちが行きやすい環境をつくることは、改めて大事だなと思う。

(委員) 今のおやこ劇場さんの事業のように、年齢が小さいうちから、文化に触れることが大事だと思った。令和3年度は感染対策をしながら、やりきった印象がある。志木市は年齢が小さいところに多く〇がついていて、重点を置いていることも分かった。

今後は、〇がついていない部分を重点的に実施していけばよいのかなと感じた。

(副議長) 令和3年度はいろは遊学図書館のよみきかせなど、感染対策をしながら実施ができた。また、他の事業が中止となった影響か親子連れでたくさんよみきかせに来てくれた。初めて来た親子連れもいた。

健康政策課の「しょく（食・職）場づくり」講座では、ハウス食品と一緒に実施したり、コロナ禍でもZoomを使い、工夫をしていた。また、異文化交流でも参加をされていて志木市に住んでいるベトナムの方と、市民の方と交流ができ、良い機会だった。

また、仕事をやめてこうした事業を知る方もいる。きっかけさえあれば、講座に出たいという方も多くいると思った。

(議長) これだけの254事業を、今後いかに継続していくかが重要だと思う。事業について何か事務局へ質問があるか。

(委員) ない。

(議長) 了承したとのことでは。

(委員) よい。

(2) 旧村山快哉堂活用事業補助金の審議について 説明：浅見主幹

旧村山快哉堂は、平成14年に市の指定文化財になり、今までは、「村山快哉堂管理運営委員会」という市民団体に有償ボランティアでお願いをしていた。

今年の8月から指定管理をかたばみ興業にお願いし、村山快哉堂管理運営委員会は「快哉堂友の会」という名前が変わり、事業や案内活動などを行うボランティア団体になった。それに伴い、補助金を交付する補助事業が変わった。事業の実施時期は、令和4年8月～令和5年3月までで、対象・交付額は350,000円である。

(議長) 350,000円の金額は、倍になるのか。

(事務局) 単純に、倍にはならない。案内に関しては、謝礼になる部分もあるので、謝礼扱いにするか検討中。

(議長) お囃子などは実施しないのか

(事務局) 2月～3月つるし飾りの際、郷土芸能団体さんをお願いしているので、日程調整していきたい。

(副議長) 今現在の友の会の会員数は。

(事務局) 元々が22、3名であったが、今現在、高齢化もあり14名ほどである。

(議長) 指定管理者の方は何をやるのか。

(事務局) 今はシルバーの方に、管理運営委員会の皆さんをお願いしていた草むしりや、掃除などをお願いしている。今までは週4日間の開館日であったが、火曜日以外は開館している。

(副議長) 旧村山快哉堂は、何時から何時まで開館しているのか。

(事務局) 10時～16時まで開けている。

(委員) ボランティアの研修などはあるのか。

(事務局) 11月16日(水)にボランティア養成講座を実施する。

(委員) 外国の方からも魅力的な場所なので、ぜひボランティアに参加してみたい。

(事務局) ぜひ、ご参加いただきたい。

(議長) この件は、承認でよいか。

(委員) よい。

4 その他

令和5年度関東甲信越社会教育研究大会について 説明：浅見主幹

事務局より説明

前回、神奈川とお伝えしたが、栃木の宇都宮で11月に開催予定である。
日にちが近くになったら通知予定。

次回の会議は、令和5年3月22日（水）午後 場所は未定。

→後日、市民会館302会議室で決定。

5 閉 会 有馬隆江副議長